



CAS-UB

ワンソースでマルチな成果物を
簡単に制作できるCAS-UB
サービス開始五周年記念セミナー

2016年10月24日

14:45～

アンテナハウス株式会社

本日のアジェンダ

- 14:45～15:45 CAS-UB V4.0の概要
- 15:45～16:15 プリントオンデマンド出版とはどのようなものか？
- 16:15～16:30 電子情報誌配信システムについて

CAS-UB V4.0の概要

- I はじめに CAS-UBとは
- II CAS-UB V4編集操作のポイント
- III 簡易マークアップCAS記法について
- IV マルチ出力の操作方法

I はじめに CAS-UBの狙い

- 出版物制作の生産性を上げること

原稿から成果物出力までの行程

1. 原稿を書く(著者)
2. 原稿を整理する(編集者)
3. 指定する(編集者)
4. 成果物を試作する(制作者)
5. 校正する(著者、編集者)
6. 最終成果物を出す(制作者)

印刷(紙の本)のためのPDF優先

- 制作者とは？

紙の本の制作の現状

- ある程度訓練された制作者が、InDesignなどのDTPで制作する
- 家内制手工業



- 協力
コミュニティ
- InDesignの勉強部屋
 - DTPの勉強部屋(名古屋)
 - さいたまデザインDTP勉強会
 - CSS Nite

生産性を上げる方法、その1 制作作業の自動化

- CAS-UBは、PDF作成において制作者が関与する部分を、自動化に置き換える
- 訓練された技能がなくても、一定品質のレイアウトで書籍PDFを作れる

生産性を上げる方法、その2.

一つ原稿から多種類の成果物を作る

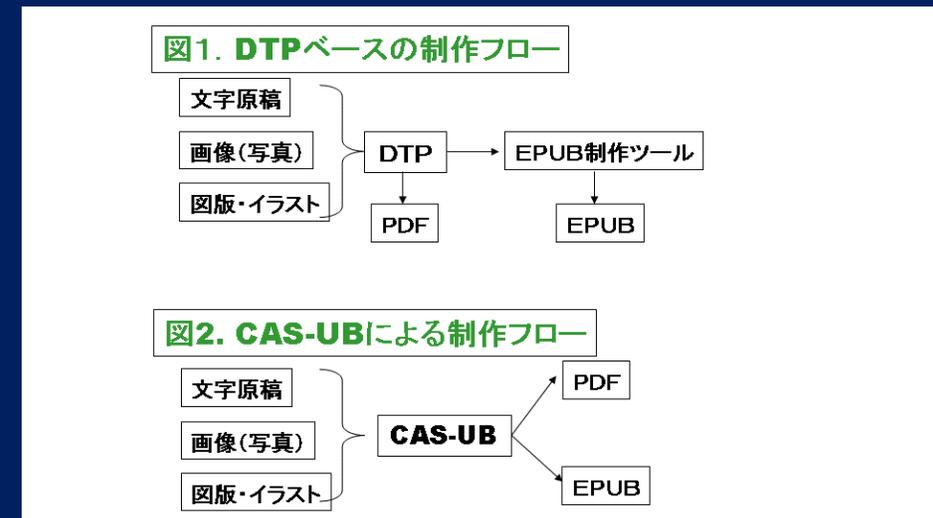
- ワンソースマルチユースは出版物の内容を一度作ってさまざまな出力を得る。
- 紙も電子もWebも同時に出す。

1. 本のためのPDF

2. 配布のためのPDF

3. EPUB

4. Webページ



デジタルファースト

- 電子版を先に出す
- 売れるようなら、紙を出す

※紙のリスクを削減する

- ワンソースマルチユースを実現すれば、そのままデジタルファーストもできる。

デジタル技術で本を作り、販売する

- 1980年頃からコンピュータ技術が身近になってきた
 - 編集と印刷から始まり 1980年～
 - DTPによる制作 1980年代後半～
 - PDFを印刷工程に渡す 1990年代末
 - そしてデジタルによる流通 2010年代～
- ⇒統合へ

類似サービス

- 国内

- BCCKS <https://bccks.jp/>
- BookSpace <https://bsworld.jp/>

- 海外

- O'Reilly Atlas <https://atlas.oreilly.com/>
- PressBook <https://pressbooks.com/> Create Books: Print and Ebooks.
- GitBook <https://www.gitbook.com/>

CAS-UBの違い

- 他のサービスのビジネスモデルは販売まで統合しているものが多い
 - 販売収入のシェア
- CAS-UBは制作に特化している。
 - 他のサービスでは難しいような縦組の本ができる。
 - 専門書(表、索引、図版を多用する)も作れる。

Ⅱ CAS-UB V4編集操作のポイント

1. 新規出版物の作成
2. 新しい記事
記事のタイトルと本文
3. 章・節構成を作る
4. 前付・後付など

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/create-publication.mp4>

Ⅲ 簡易マークアップCAS記法について

なぜ簡易マークアップが必要か

ワンソースマルチユースは

- DTP (WYSIWYGの編集)では困難。 WYSIWYG :What you see is what you get
- 文書の内容を出力する媒体(紙)から独立化させ、
- レイアウトは出力する成果物毎に、後付けで与えるため。

簡易マークアップでテキストに指定を付与する

- 編集者には可能なはず
 - 簡易マークアップは編集者が制作者向けに指定する役割に近い。

簡易マークアップ(CAS記法)でできること

「CAS記法リファレンス」

<http://www.cas-ub.com/howto/reference/index.html>



The screenshot shows the top navigation bar of the CAS-UB website. The navigation items are: CAS-UB (with a book icon), サービス概要 (Service Overview), ご利用案内 (Usage Guide), サポートガイド (Support Guide), and リファレンス (Reference). The 'リファレンス' link is circled in red. Below the navigation bar is a large green banner with the text 'デジタル書籍制作Webサービス CAS-UB'. At the bottom of the banner are two buttons: 'ユーザー登録' (User Registration) and 'ログイン' (Login) with a lock icon.

【テキスト中に現れる記号について】

- 《 》: ルビ → ルビのマークアップ: ((被ルビ文字|ルビ))
 - (例) 否《いな》
- [#]: 入力者注 主に外字の説明や、傍点の位置の指定
 - (例) 蕎麦は栄養価値中[#「蕎麦は栄養価値中」に傍点]
 - (イ)[#「(イ)」は縦中横]
 - (口)[#「(口)」は縦中横] → 縦中横のマークアップ: [[[tcy ...]]]
 - (ハ)[#「(ハ)」は縦中横]
 - (ニ)[#「(ニ)」は縦中横] 昔は馬方蕎麦を打って
- 青空文庫(<http://www.aozora.gr.jp/>) → リンクのマークアップ: [[URL]]

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/markup.mp4>

Wordからの外部入力 のスタイル変換

- WordのスタイルをCAS記法に変換

<http://www.cas-ub.com/howto/support.html>

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/word-import.mp4>



Wordインポートと Word変換の利用ガイ ド

CAS-UB V4.0版のWord取り込み機能の利用方法に関するガイドです
(旧版から変更ありません)。

Webマニュアル
(2016.10.20公開)

PDF形式 (2016.10.19更
新)

IV マルチ出力の操作方法

- PDF
- EPUB
- Web

PDF生成(基本設定)

- 判型
- 縦組・横組
- 基本版面

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/publish-pdf.mp4>

PDF生成のレイアウト指定 とカスタマイズ

- ① 記事別出力有無の設定
- ② PDFレイアウトのカスタマイズ
- ③ PDF詳細レイアウト
- ④ 記事スタイル
- ⑤ スタイルセット

<http://www.cas-ub.com/howto/support.html>



PDF生成のためのガイド

CAS-UB V4.0版のPDF生成のための各種設定やレイアウトのテーマ利用ガイドです。**new 2016.10.20**

Webマニュアル
(2016.10.20更新)

PDF形式 (2016.10.20更新)

【PDF生成の調整】

- 最初の見出しを空白にする
- 段落先頭の字下げ
- 目次を作らない
- 章番号をつけない
- 章で改ページにする

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/PDFlayout-1.mp4>

【PDFをさらに綺麗にする】

蕎麦切のつなぎ

蕎麦のつなぎは、鶏卵、自然薯、
芋薯は蕎麦切をやや硬くする恐れが
鶏卵を入れて打ったものは、他の
これがつなぎについて藪忠老人の
イ）鶏卵つなぎは、蕎麦粉一升に（百
た挽粉の荒い場合は一個を増して三
口）薯蕷つなぎは、これは生でおろ
ることもありますから、薯蕷の乾粉
つき薯蕷粉八勺です。

（ハ）葛粉つなぎは、蕎麦粉一升につ
な（お東京市内ではないと存じま
な）などを用いないで、米利堅粉を「つ
その内ひどいになると、蕎麦粉四

ラベルのない箇条書き

箇条書き

- *項目1
- *項目2
- *項目3

箇条書き

- *:nolabel 項目1
- *項目2
- *項目3

記事のスタイル変更

データ

底本：「日本の名随筆 別巻19 蕎麦」 作品社

1992 (平成4) 年9月25日第1刷発行

底本の親本：「栄養と蕎麦料理集成―蕎麦うどん名著選集

1981 (昭和56) 年7月

入力：加藤恭子

校正：もりみつじゅんじ

2001年2月24日公開

2006年4月23日修正

青空文庫作成ファイル：このファイルは、インターネット・ライブラリー「www.aozora.gr.jp/」で作られました。入力、校正、制作にあつては、www.aozora.gr.jp/で作業されました。

見出しに下線を引く

```
.s-title-of-postface {  
border-bottom-width:0.2pt;  
border-bottom-style:solid;  
}
```

ページを横組にして 全体を下に寄せる

```
.postface {  
tbl: no;  
entry-align: after-start;  
}
```

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/PDFlayout-tuning.mp4>

『XSL-FOの基礎』 サンプルレイアウト改善の例

- 例) 整形済み

```
{{  
ここにプログラムのコーディング例などを書く。いままでは飾りをつけられなかった  
}}
```

```
{{:markup  
V4からnラインのマークアップを解釈する  
}}
```

動画:

<http://www.cas-ub.com/howto/mp4/PDF-pre-refine.mp4>



EPUB生成のレイアウト指定とカスタマイズ

- ①記事別出力有無の設定
- ②CSSのテーマ
- ③カスタムスタイルシートの作成

<http://www.cas-ub.com/howto/support.html>



CSSレイアウトのカスタマイズガイド

CAS-UBでは、既成のテーマをカスタマイズすることができます。このガイドはユーザー指定CSSを作成するためにCAS-UBのXHTMLとCSSについて解説するものです。**new**

2016.10.19

EPUB3.0形式 (2016.10.19
公開)

PDF形式 (2016.10.19公
開)

Word文書をEPUBに変換する

- Word変換メニュー



The screenshot shows the CAS-UB (Cloud Authoring Service for Universal Book) interface. In the top left corner, there is a logo for CAS-UB with the text 'Cloud Authoring Service for Universal Book' below it. To the right of the logo, there is a button labeled '出版物新規作成'. In the top right corner, there are three links: 'ユーザー情報', '公開プロフィール', and 'ログアウト'. Below these links, there is a horizontal menu with several items: '出版物新規作成', 'Word変換', 'メルマガ変換', 'ディスク使用量', and 'CAS-UB修正情報'. The 'Word変換' item is circled in red. Below the menu, the text 'cas-demoさんの著者ページ' is displayed.

Word文書を直接EPUBに変換します。

Webページ生成操作

• CAS-UBのガイドのWeb版

CAS-UB Support
ANTENNA HOUSE

CAS-UB

目次 TOP

はじめに
凡例

第1章 PDF生成の概要

- 1-1 作成する出版物の形式
- 1-2 書籍PDFの構成
- 1-3 構成例

第2章 PDF制作例

- 2-1 原稿の構成
- 2-2 サンプルPDF

第3章 PDFの生成操作

- 3-1 生成画面
- 3-2 設定画面
- 3-3 一般設定
- 3-4 表紙内容設定
- 3-5 奥付内容設定
- 3-6 レイアウト設定
- 3-7 フォント設定
- 3-8 出力オプション
- 3-9 POD版設定(横組書籍・縦組書籍のみ)
- 3-10 設定の保存

第4章 書籍のレイアウト詳細設定

- 4-1 用紙サイズとマージン設定
- 4-2 基本版面調整
- 4-3 ページ番号(ダブル)

次へ

PDF作成ガイド

はじめに

本ガイドでは、CAS-UBでPDFを生成する方法について説明します。

- CAS-UBの操作方法については、『CAS-UB User Guide V4.0』(CAS-UB利用ガイド) (CAS-UB サポート&ガイドよりダウンロードできます)を参照してください。
- 見出し、テキストの段落配置、フォント(強調など)、表・画像・図版の配置、注など多くの項目は記事編集でマークアップします。マークアップの機能一覧については、WebのCAS記法リファレンスを参照してください。

凡例

1. 画面は強調で表します:(例) **記事一覧**は記事一覧画面を示します
2. 画面の遷移は⇒で表します:(例) **生成⇒PDFのレイアウト設定** 生成画面で、PDFのレイアウト設定のリンクをクリックすることを示します
3. 画面の設定項目名は【項目名】で表します:(例)【基本文字サイズ】はPDFの**レイアウト設定**画面の設定項目の基本文字サイズを示します
4. 選択肢・入力データは「選択肢」で表します:(例)【基本文字サイズ】「9pt」はPDFの**レイアウト設定**画面の設定項目の基本文字サイズ項目に「9pt」を入力したことを示します
5. 処理の実行ボタンまたは選択の確定のボタン[ボタン]で表します:(例) [PDFを生成]は、**生成画面**の「PDFを生成」ボタンを示します

次へ

CAS-UBスタンドアロン、オンプレミスライセンスのご紹介

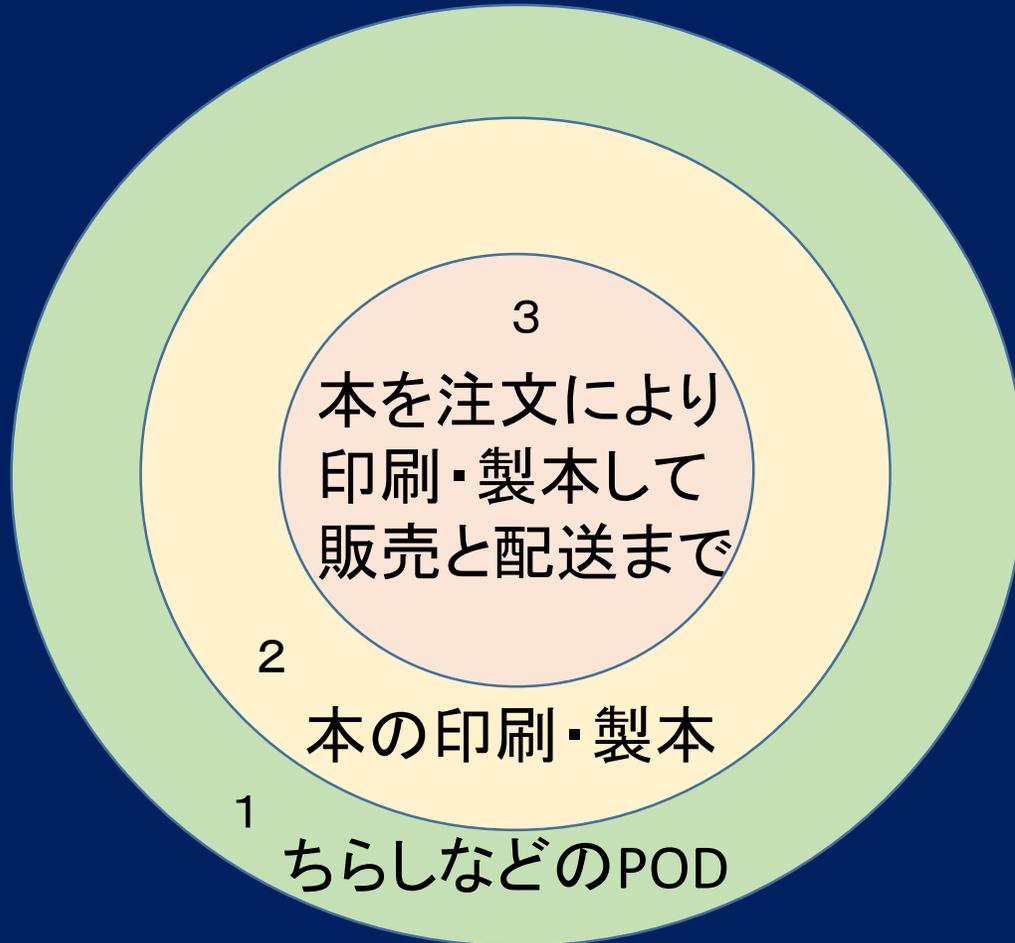
- こんなときご検討ください。
 - 情報を社外のWebサービスに出したくない
 - 豊富なフォントを使いたい
 - 毎月使用料金がかかるのは困る
- スタンドアロンライセンス
 - CAS-UBをスタンドアロンPCにインストール
- オンプレミスライセンス
 - CAS-UBを社内のネットワーク専用にご提供

POD出版實踐報告

プリントオンデマンドとは？

以下では3のタイプのPODについて

本を注文してから印刷・製本して配送



三省堂(神保町)の
エスプレッソマシン

アマゾンPODは
注文を受けてから
印刷・製本配送
東日本橋ならその日のうちに
配達される

PODは紙によるデジタルファースト

- PODの良さは初期の印刷・製本費が小さいこと
- ⇒ 倉庫代、在庫負担、廃棄ロスが少なくなる
- ⇒ Amazon POD(販売時に製造する)なら在庫負担はゼロ
- PODで売れたら、印刷・配本するという方法が成り立つ
 - PODで売上は増やせないが、損失リスクは減る

アマゾンPODの弱点

- 印刷ページ単価がまだ高い @2.5
- リアル書店でないので、現物の棚を見て、存在に気がつくことがない
- 立ち読みはできるけど、本全体の内容を把握しにくい
- 現物を仕上がり確認できないこと
 - 特にスキャンして作った書籍はプリントが悪いことがある
 - ※(CAS-UBでは、ボーンデジタルなので、そのような問題は起きません)

PODの判型・基本版面

- 横組の専門書はPOD判型としてはB5
 - 文字の大きさは10ptは大きすぎるか？
 - 行送りは広めにとる
- 横組の文字の多い本
 - A5 2段組が良いのでは 38文字×33行 2段組 1188文字
- 縦組
 - 四六判は通常Max:900文字。PODでは版面が小さすぎる(?)
- 扉は作らない
- 白紙ページを最小にするため章の始まりでも改丁しない

POD販売例:『PDFインフラストラクチャ解説』

- 発行日:2016年1月
- 著者:小林徳滋
- サイズ:B5判 横組み
- ページ数:268p(オンデマンド版)
- 価格(税込):2,678円(オンデマンド版)
- 1,250円(Kindle版)
- 販売店:アマゾン



販売実績

- POD版 1~9月 115冊 粗利 79,005円(税別)
 - $2,480(\text{税別}) * 0.62 - (268 * 2.5 + 180) \text{円} = 687 \text{円}$
- Kindle版 1~9月
 - 35% 6冊 3,142円
 - 70% 50冊 40,300円
 - 合計 56冊 43,442円
 - KENP 8,279P 6,875円
 - Kindle版 50,317円
- 総収入 129,322円

紙版とKindle版では粗利益も紙の方が多い

技術書典

- TechBooster/達人出版会の主催による
- 6月25日 秋葉原通運会館にて
- 当日の入場者は約1,200人

右の5タイトルを延べ39冊、
金額で66,400円を販売



電子情報誌配信システム

会員制電子書籍配信サービス

- 会員制の電子書籍（EPUB版、PDF版）を配信するサービス
- 配信管理サーバーで目次を配信する

スマホアプリで情報誌を読む

- スマホアプリで発行毎に目次を自動取得
 - Webとは違って、取りに行かない
 - アプリを起動すれば情報が手元に届く

アプリは個別にカスタマイズ

- スマホアプリは、情報誌の内容に合わせてカスタマイズ
- 某大手学会向けに開発して、提供中
- iOSアプリ
- Androidアプリ

EBook2.0マガジンの配信中

- アンテナハウスは、オブジェクトテクノロジー研究所発行のEBook2.0 Magazine Weeklyを配布しています。
- 先着25名様をモニターとして全記事を無料でお読みいただけます。
- モニター期間：2016年10月1日～2017年9月30日まで
- モニター申し込みフォーム：<http://www.antenna.co.jp/epub/>

参考資料

- 本のワンソースマルチユース制作
～その理論・実践・未来



<http://magazine-k.jp/2016/03/14/single-source-publishing/>

- CAS-UB Webサイト

<http://www.cas-ub.com/>

- CAS-UB 問い合わせ先

cas-info@antenna.co.jp